

事務事業名		介護給付事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	障がい福祉係	担当課長名	青村裕子	
	施策	2 障がい者の社会参加と自立の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 日常生活支援の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4003	一般	3	1	2	介護給付事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業			任意的事業・義務的事業		義務的事業	
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成18年度～年度		根拠法令 条例等	障害者総合支援法		実施方法		全面委託	
	事業区分		事業分類		その他直接サービス提供事業			リーディングプロジェクト		該当なし	
	事業区分		市長マニフェスト		該当なし						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
訪問系サービス(居宅介護、行動援護、同行援護、短期入所)、日中活動系サービス(療養介護、生活介護)、居住系サービス(施設入所支援)を必要とする障がい者に対して、申請を受けて調査等を行い、障がい支援区分認定や支給決定。 事業所からの請求が国民健康保険団体連合会の審査を経て請求があり、その審査内容の点検、支払い。 利用者の状況によっては、相談支援事業所とも連携し相談支援やケース会議等を開催、更新が必要な方にも案内を通知する。		申請受付、調査、障がい支援区分認定、支給決定(通年)国民健康保険団体連合会に決定者情報を送付、事業所請求内容の点検(毎月)、更新が必要な方に案内を通知(毎月)を実施。						
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		介護給付利用者数	人	1,194	1,250	1,300	1,350	1,400
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
障がい者(児)を対象とする。		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		身体障害者手帳所持者数	人	4,262	4,403			
		療育手帳所持者数	人	902	937			
		精神障害者保健福祉手帳所持者数	人	770	821			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
必要なサービスを受けることができ、安心して自立した生活を送ることができる。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		介護給付受給者数/障がい者数	%	20	20			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
自立した日常生活が送れる。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		介護給付及び障がい児通所給付利用者数	人	1,339	1,504	1,500	1,550	1,600

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
		国庫支出金	千円	809,088	748,540	794,976	793,790	828,810	
		県支出金	千円	404,544	374,270	397,488	396,895	414,405	
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	383,039	378,036	397,488	396,895	414,405	
		事業費計(A)	千円	1,596,671	1,500,846	1,589,952	1,587,580	1,657,620	
事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
		介護給付・訓練等給付費	1,596,671	介護給付・訓練等給付費	1,500,846	介護給付・訓練等給付費	1,589,952	介護給付・訓練等給付費	1,587,580
人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5		
	のべ業務時間	時間	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200		
	人件費計(B)	千円	12,451	12,611	12,611	12,611	12,611		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,609,122	1,513,457	1,602,563	1,600,191	1,670,231		

事務事業名	介護給付事業	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課	担当係	障がい福祉係
-------	--------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	障害者自立支援法が平成18年4月より一部施行、同年10月には全面施行となり開始。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成22年12月に障害者自立支援法が一部改正され、その後も、毎年制度改正、平成25年4月から障害者総合支援法が施行。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	議会にて、利用者負担額における市独自の助成について質問を頂いた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
現状維持	現状維持により対象外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 安心した自立生活を送ることは、社会との接点を持つことになり、市の政策体系に結び付く。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 障害者総合支援法で、市町村が行うものと定められている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 介護給付費の対象となるものが、サービスを必要とする障がい者(児)である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案 障害者総合支援法で規定されている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 サービスを提供者は各事業所、そこでサービス利用のため、支給決定を行う。障害者総合支援法の見直し・改正があり、同法が安定すれば、業務所要時間を短縮することもできる。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 法律に定められた自己負担があり、適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	サービスを必要とする方がいなくなれば終了となるが、現実的にはあり得ないことである。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			